



2018年3月19日

各 位

会 社 名 イオンディライト株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 中山 一平
兼社長執行役員
(コード番号 9787 東証第一部)
お 問 合 せ 先 取締役兼常務執行役員 古川 幸生
経営管理統括
(TEL. 06-6260-5632)

テクノロジーの活用でアジア No.1 のファシリティマネジメント企業へ
中国 IT 企業「深蘭科技(上海)有限公司」との合弁会社設立に関するお知らせ

R&D センターで従来のビジネスモデルを刷新する SmartFM を研究開発

イオンディライト株式会社（本社：大阪府大阪市、代表者：代表取締役社長 兼 社長執行役員 中山一平、以下「当社」）は、深蘭科技(上海)有限公司(本社:中国上海市、代表者:代表取締役 陳海波、以下「ディープブルーテクノロジー」)との共同出資により、テクノロジーを活用したファシリティマネジメント(以下、「FM」)の新たなビジネスモデル「SmartFM」構築を目的に、新会社を設立することを決定しましたので下記のとおりお知らせします。

記

1. 新会社設立の理由

当社は、アジアを主たる活動領域と定め、グローバルレベルの FM 企業を目指し事業を展開しています。とりわけ中国をアジア最大の市場と捉え、2007 年に中国市場に参入して以降、現地有力企業を自社グループに迎え入れることで事業基盤を構築し、日本国内で培ったノウハウや省エネ技術を強みに大型商業施設をはじめ、高級レジデンス、交通インフラ施設等、様々な施設へサービスを提供し事業を拡大してまいりました。

近年、中国では、社会インフラの整備や都市環境の変化に伴い、高品質な FM サービスへの需要が高まっています。FM 市場では大手企業による寡占化や M&A による業界再編などにより、競争が激しさを増しています。加えて、日本国内同様、人手不足、人件費の高騰などから FM の自動化や効率化へのニーズが高まっています。

こうした中、当社は中国での更なる成長を目指し、人工知能の基礎研究と応用開発といった分野に強みを持ち、その研究開発から商品企画・開発、生産に至るまでの一貫したソリューションを提供するディープブルーテクノロジーとの共同出資により新会社を設立することとなりました。新会社は、当社が日本で培ってきたノウハウと先端のテクノロジーを融合させた FM の新しいモデル「SmartFM」を創造するための研究開発に特化した R&D センターとしての機能を担います。「SmartFM」では、AI や IoT を活用した視覚監視制御システムや防犯システム、各種ロボットなどにより、お客さまが保有される施設をインテリジェント化し、施設利用者の利便性を向上すると共に、業務の自動化・効率化により大幅な生産性向上を図ります。

将来的には、「SmartFM」を中国はもとより、日本、アセアン各国へと展開していくことで、アジアで有数の技術力、ブランド力を誇る FM 企業を目指してまいります。

2. 設立する新会社の概要

(1) 名称	(中国語名) 永旺永楽深蘭科技(上海)有限公司 (日本語名) イオンディライト ディープブルー テクノロジー カンパニー (英語名) AeonDelight DeepBlue Technology(Shanghai)Co.,Ltd.
(2) 所在地	中華人民共和国上海市長寧区(予定)
(3) 代表者の役職・氏名	董事長 四方 基之(イオンディライト株式会社 取締役 兼 執行役員)
(4) 事業内容	施設向けの視覚監視制御システム、防犯システム、清掃ロボット、カスタマーサービスロボットなどハードウェア設備、及びそれらのソフトウェアの研究開発
(5) 資本金	1,000 万元(円換算額 約 1 億 7,000 万円)
(6) 設立年月日	2018 年 4 月 26 日(予定)
(7) 大株主及び持株比率	イオンディライト株式会社 650 万元(65%) 深蘭科技(上海)有限公司 350 万元(35%)

3. 深蘭科技(上海)有限公司の概要

(1) 名称	深蘭科技(上海)有限公司	
(2) 所在地	中華人民共和国上海市長寧区凱旋路 1010 号	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 陳海波	
(4) 事業内容	人工知能の基礎研究と応用開発	
(5) 従業員数	200名(2018年2月末時点)	
(6) 資本金	620 万元	
(7) 設立年月	2014 年 9 月	
(8) 当社との関係	資本関係	当社と当該会社との間には、記載すべき資本関係はありません。
	人的関係	当社と当該会社との間には、記載すべき人的関係はありません。
	取引関係	当社と当該会社との間には、記載すべき取引関係はありません。
	関連当事者への該当状況	当該会社は、当社の関連当事者には該当しません。

4. 日程

- (1) 合弁会社設立に関する合弁契約書の締結 2018 年 3 月 5 日
- (2) 合弁会社設立日 2018 年 4 月 26 日(予定)

5. 今後の見通し

本年度における業績への影響につきましては、軽微であると考えております。今後、業績見通しに開示すべき重要な影響があることが判明した場合には、速やかに開示いたします。

以上

(参考)

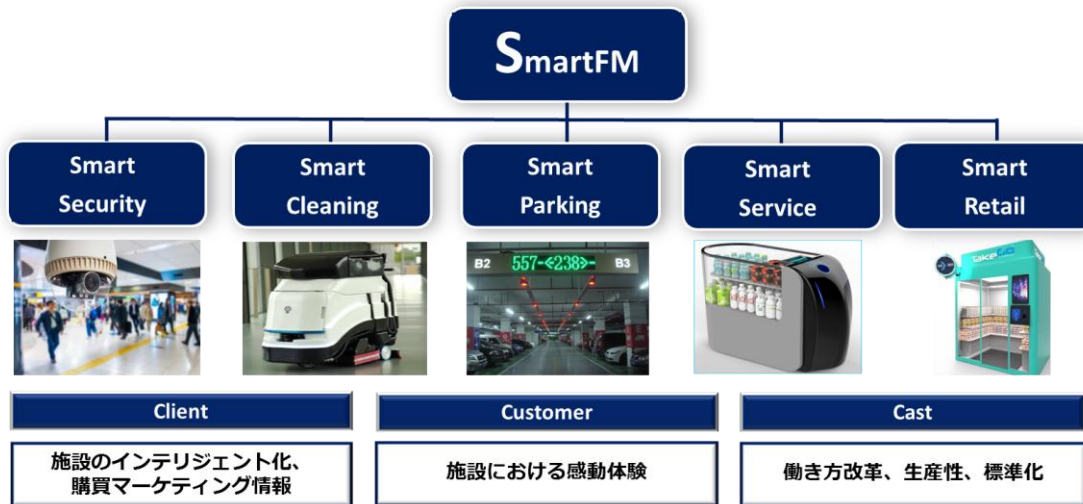
① ディープブルーテクノロジー社の強み

- ・従業員数 200 名のうち、30 名以上が AI やロボット工学などの博士号及び博士研究員資格を所有し、100 名以上が修士号を所有。30 項目以上の人工知能・アルゴリズムやオリジナル技術を保有し、グローバルコンテストの最優秀賞を 4 回獲得、中国国内におけるコンテストの最優秀賞を 3 回獲得。17 カ国にて販売ネットワークと分公司を設立
- ・世界で初めてディープランニング、ダイナミック・アイデンティティ、生体認証決済といった技術によって「take go」という無人リテールシステムを開発
- ・人工知能の基礎研究と応用開発から商品企画・開発・生産まで一貫したソリューションを提供。研究分野は無人運転からロボット、リテールシステム、教育、AI 医療システム、交通インテリジェンスなどまで幅広くカバー



ディープブルーテクノロジー社が開発した無人リテールシステム「take go」

② SmartFM の概念図



③ 調印式



3月5日、イオンディライト本社にて開催された調印式
写真左より、深蘭科技（上海）有限公司 代表取締役 陳海波と
イオンディライト株式会社 代表取締役社長 兼 社長執行役員 中山 一平